

みらいのかぞくプロジェクト  
トークイベント vol.2「いのちを迎えるすべての人へ  
～赤ちゃんの出生前検査を考える～」  
2016年9月25日(日)開催

にっぽんかがくみらいかん

日本科学未来館(略称:未来館 館長:毛利 衛)は、2016年9月25日(日)に、「みらいのかぞくプロジェクト」の一環として、トークイベント「いのちを迎えるすべての人へ～赤ちゃんの出生前検査を考える～」を開催します。

従来の「超音波断層法(エコー)」や「羊水検査」などに加えて、近年、妊娠の早い段階に母親の血液だけで、赤ちゃんに代表的な染色体異常があるかどうかを調べられる「新型出生前検査(無侵襲的出生前遺伝学的検査:NIPT)」が受けられるようになりました。赤ちゃんの健康を確認して安心したいという気持ちで受診する検査ですが、技術が進展し精度が高まることで、結果によっては「命の選別」という大変難しい選択を迫る可能性を含んでいます。

本イベントでは、産科医および遺伝カウンセラーとして妊婦さんや赤ちゃんに接している山中美智子氏、生命倫理や人権の観点から生殖補助医療や遺伝性疾患を研究している武藤香織氏をお招きし、それぞれ出生前検査の現状をお話しいたします。さらに、後半のディスカッションでは、出生前検査の受診をめぐる夫婦で話し合った経験をもつ一般男性から実体験をお話いただいた後、会場の参加者も交えて議論し、社会として出生前検査とどう向き合っていくのかを考えます。

ぜひ貴媒体にてご掲載、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

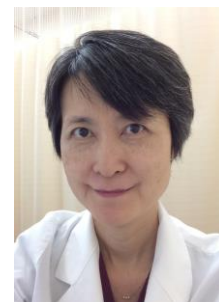
※みらいのかぞくプロジェクト(詳細は次ページ)

**【概要】**

タイトル トークイベント vol.2「いのちを迎えるすべての人へ～赤ちゃんの出生前検査を考える～」  
日時 2016年9月25日(日) 13:00～15:00(12:30 開場)  
会場 日本科学未来館 7階 会議室2  
参加費 無料  
申込方法 要事前申込。日本科学未来館ウェブサイト上の申込フォームからお申込ください。(定員 80名/先着順)  
<http://www.miraikan.jst.go.jp/event/1608181520418.html>  
主催 日本科学未来館

**【プログラム】**

1. 話題提供①「診察室からみた出生前検査」  
山中美智子氏(聖路加国際病院 遺伝診療部 部長/女性総合診療部 医長)
2. 話題提供②「日本と諸外国における出生前検査の現状と倫理的課題」  
武藤香織氏(東京大学医科学研究所 公共政策研究分野 教授)
3. 客席を交えたディスカッション  
「新しい家族を迎える準備としての出生前検査を考える」



山中美智子氏



武藤香織氏

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL <a href="http://www.miraikan.jst.go.jp/">http://www.miraikan.jst.go.jp/</a>	日本科学未来館 展示企画開発課 広報普及担当 Email: <a href="mailto:press@miraikan.jst.go.jp">press@miraikan.jst.go.jp</a> TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

---

## 講師プロフィール

**山中美智子氏**(聖路加国際病院 遺伝診療部 部長/女性総合診療部 医長)

1984年山形大学医学部卒業。横浜市立大学医学部付属病院、神奈川県立こども医療センターなどで産婦人科医として勤務。この間、米国ボストン大学人類遺伝学センターへの留学、大阪府立大学看護学部教授などを経て、2010年より現職。

**武藤香織氏**(東京大学医科学研究所 公共政策研究分野 教授)

2002年博士(保健学)取得。2013年より現職。家族と縁の深い医療や医学研究の現場や政策を調査研究。特に、被験者、患者、障害者の立場からみた課題を抽出し、研究や医療という営みに少しでも主体的な参画ができるようにするための研究に力を注いでいる。

---

## 関連イベント

**参加型ミニトーク「おなかの赤ちゃんのこと、どこまで知りたい? ~2025年こうのとりの相談室」**

遺伝のしくみや遺伝子に関わる病気、現在病院で受けられる出生前検査について分かりやすく説明した後、参加者の方と未来の出生前検査について考えるディスカッションを行います。

日 時: 毎週土曜日15:30-16:00

場 所: 日本科学未来館 5階 常設展「世界をさぐる」内「コ・スタジオ」

参加方法: 事前申込不要。直接会場にお越しください。

参加費: 日本科学未来館の入館料のみ(大人620円、18歳以下210円 ※土曜日は18歳以下無料)

※スケジュールは変更になることがあります。

---

## みらいのかぞくプロジェクト

「一般的な家族」とはどういうものでしょうか。近年、価値観の多様化や科学技術の発達などによって、さまざまな新しい「家族のかたち」が現れてきています。これまでの養子縁組や事実婚などに加え、この数年、同性婚を社会的に認めるかどうかという議論が世界中で活発になり、日本でも複数の自治体が同姓カップルをパートナーとして「認定」する条件を制定しました。一方、家族のかたちやあり方を大きく変える新しい科学技術が生まれつつあります。幹細胞技術により、同性同士でお互いの遺伝子を受け継ぐ子どもをもうけたり、新しい遺伝子操作技術「ゲノム編集」により遺伝情報を書き換えたりすることが技術的には可能になるかもしれません。このような状況のもと、家族のかたちやあり方に関わ

る科学技術について、すでに実用化されている技術も、いずれは実用化が可能とみられる技術も、その使い方やメリットデメリット(リスク)を社会全体で考えて行く必要があります。このような問題について、科学技術がもたらす変化や可能性を切り口に、家族に関わる社会学・文化人類学的側面や制度のあり方、個々人の心持ちも含めて議論することにより、多様性を認めつつ皆が幸せに暮らせる社会に向かうきっかけをつくっていくのが、このプロジェクトのミッションです。

